中原　泉
一枚の写真
㉒

九州歯科大学の中興の祖 永松勝海先生

本学校友で，大学の理事長また学長・校長をつとめた方は，次の８氏である（卒業回数順・敬称略）。

- **永松　勝海**（７回卒・大分）
  九州歯科医学専門学校校長，九州歯科大学学長
- **堀　　武**（15回卒・神奈川）
  日本女子衛生短期大学学長，神奈川歯科大学学長
- **周　　汝川**（29回卒・台湾）
  中山医学大学の創立者，中山医学大学理事長
- **木本　鎮雄**（特別会員・東京）
  神奈川歯科大学の創立者，学校法人神奈川歯科大学理事長
- **渡辺　　享**（32回卒・北海道）
  東日本学園大学（現，北海道医療大学）の創立者，学校法人東日本学園大学理事長
- **木暮　山人**（38回卒・新潟）
  明倫短期大学の創立者，学校法人明倫短期大学理事長
- **羽坂　勇司**（41回卒・神奈川）
  学校法人青山学院理事長
- **田久昌次郎**（69回卒・福島）
  昌平黌理事長，東日本国際大学学長，いわき短期大学学長

昭和36年（1961），私の３年生のときオール・デンタルが小倉で開催された。40年代中頃に改称されて，今の歯学体（全日本歯科学生体育大会）になる。

私は，九州歯科大学講堂で催された開会式に参加した。歓迎の挨拶をした主管校の学長を，遠く壇上に仰ぎみた記憶がある。だいぶ後になって，あのときの学長が，本学７回卒の永松勝海（かつみ）先生と知った。先生は昭和39年に亡くなられたので，親しくお会いする機会はなかった。

大正３年に福岡市に創立された私立九州歯科医学校は，内紛により昭和４年に破産宣告をうける。本学助手を経て，大正14年に九州歯科医学専門学校に赴任していた永松勝海は東奔西走し，同校は奇跡的に破産確定を免れる。昭和６年に37歳にして第三代校長に就く。彼は11年に小倉市真鶴町に校舎を新築移転し，同校を立てなおして“中興の祖”と謳われる。

その後，永松は昭和19年まで校長をつとめたが，同年に同校は福岡県に移管され，医学科を併設して福岡県立医学歯学専門学校となる。ところが，戦後のGHQの査定により，医学科はＢ級となったが，永松の尽瘁により歯学科は辛うじてＡ級に残る。

昭和22年に３年足らずで医学科を廃止し，福岡県立歯科医学専門学校と改称し，永松が初代校長になる。さらに24年に新制九州歯科大学に昇格し，彼は初代学長に就任する。69歳で逝去するまで，長らく学長の任にあった。

斯く九州歯科大学百年の歴史にあって，永松は校長15年・学長15年，計30年をつとめた。大学史を知る卒業生は，「永松先生がいなかったら，今の九州歯科大学はなかった」と述懐する。

（写真・永松勝海学長「九州歯科大学五拾年史」より）